

第 53 回ハイリスク児フォローアップ研究会のご案内

会期:2025 年6月1日(日) 9:00～受付開始、16:30～17:00 頃終了

会頭:安藤朗子(日本女子大学 家政学部 児童学科)

会場:日本女子大学 新泉山館1階大会議室 (定員 140 名)

東京都文京区目白台 2-8-1 アクセス <https://www.jwu.ac.jp/unv/access/access.html>

目白キャンパス「新泉山館」(地図に名前が出ています)1 階

※会場のみで開催。参加申し込みは不要です。当日会場へおこしください。

参加費:研究会 3,000 円 (抄録集のみ 1 部 1000 円)

メインテーマ:小さく生まれた子どもたちの保育所生活

～健やかな育ちを支援するために必要なこととは～

プログラム(暫定案)

9:00～ 開場 受付開始

9:40～12:00 一般演題(1 演題あたり発表 7 分 質疑応答 3 分) 10～12 題予定

12:50～13:00 総会

13:00～14:00 特別講演:加部一彦先生(埼玉医科大学)

14:10～16:30 シンポジウム「小さく生まれた子どもたちの保育所生活

～健やかな育ちを支援するために必要なこととは～」

【シンポジウムの趣旨】

小さく生まれた子どもの保育所生活の全国調査(2002 年)を実施した結果、小さく生まれたという理由だけでは保育士の加配がない中、保育士の先生方が発達状況に合わせてさまざまな個別対応(食事、健康、身辺自立、言語発達、運動発達、対人関係等)をしている様子が明らかになりました。乳児期から入所する子どもも多く、入所後さまざまなケアを受けながらたくましく成長する様子もうかがえました。

調査から 20 年以上経った現在、小さく生まれた子どもたちがどのような保育所生活を送っているのか、小さく生まれた子どもにとっての保育所生活でのメリットや課題を明らかにするとともに、今後、子どもや保護者、そして保育者たちへの必要な支援について考える機会にできればと考えております。

一般演題募集要項

第 53 回ハイリスク児フォローアップ研究会に演題発表を希望される方は、以下の申し込み要領に従ってご応募下さい。

1) 応募資格

筆頭演者はすべてハイリスク児フォローアップ研究会会員であることが必要です。共同演者はこの限りではありません。現在入会手続き中の方、もしくはこれから手続きされる方も応募できます。

ホームページ:<http://highrisk-followup.jp> から入会手続きをお願いします。

2) 発表形式

一般演題の発表形式は口演(PC形式)と致します。

3) 演題応募期間

締切日:2025年3月31日(月)

4) 演題申し込み方法

800文字以内の抄録を、ハイリスク児フォローアップ研究会事務局までメール添付でお送り下さい。

抄録は【目的】【方法】【結果】【考察】【結論】等をわかりやすく記載してください。

一般演題申込先:followup.ae@twmu.ac.jp